

広島県知事 藤田雄山 殿
福山市長 羽田 皓 殿

鞆の浦の歴史的文化的価値を活かした

まちづくりの検討の場の設置に関する要望書

広島県福山市鞆の浦は、私たち鞆町の住民や福山市民にとってだけでなく、日本国にとってまた世界にとっても、歴史的文化的な価値の高い宝であることが、近年明らかになっています。昨年は、世界遺産の審査に当たるユネスコ NGO イコモス（国際記念物遺跡会議）も、中国西安総会で特別に鞆の浦の保存を求める決議をしています。

しかし、鞆の浦では歴史的な町並みなどの文化的資産の老朽化が進み、通過交通や駐車場が増え、かつて朝鮮通信使が「日東第一」と賞賛した美しい景観は、危機に瀕しています。鞆の浦のさまざまな歴史的文化的な価値を評価したうえで、それを活かした港湾や道路や都市景観はどうあるべきか、また地域振興や観光施策はどう発展させるべきか、総合的で長期的な観点からの新しいまちづくりの方針が必要です。

私たちは、このような観点から、「鞆を愛する会」から2回にわたり提言書を行政に提出するなど、さまざまな具体的な提案や要望を行政に行い、また町並みの保存活用などに取り組んできました。全国的にも、歴史と文化を活かした市民参加による地域活性化のまちづくりが、最近は多くなっております。

私たちはここに、行政においても、多くの文化財があり国際的にも評価の高い歴史的港湾都市鞆の浦にふさわしい、全国レベルでの専門家たちによる客観的で総合的な視点からのまちづくりの検討の場を、住民に開かれた形で早急に設置いただくよう、強く要望します。

この要望を、趣旨に賛成する多くの鞆の浦の住民たちの署名とともに、提出します。行政各位においては、この要望書を重く受け止め、早急にご回答を下さるよう、お願いいたします。

平成 18 年 6 月 20 日

- ・ 鞆を愛する会 ・ 鞆の自然と環境を守る会 ・ 鞆の浦海の子 ・ 福山まちづくり円卓会議 ・ 元町一町内会 ・ 歴史的港湾鞆港を保存する会
- ・ アートさくら ・ NPO 法人 e&g 研究所 ・ NPO 法人鞆まちづくり工房

豊かな自然、歴史と文化を受けつぎ、
暮らしやすく、にぎわいのある‘鞆のまち活かし’に向け
検討の場づくりを！

広島県知事
福山市長

藤田 雄山 殿
羽田 皓 殿

福山市鞆の浦は、古くから潮待ちの港町として栄え、歴史文化と豊かな自然環境の調和した町であり、近年の調査によって、鞆町の住民及び福山市民のみならず、全国そして世界に誇れる宝でもあることが明らかになってきました。

しかし残念なことに、これらの貴重な資源は、十分な光を与えられず、ややもすると崩壊寸前ともなっています。このような状況の中で、このたび「鞆を愛する会(代表 大井幹雄氏)」による「新たな時代に向けた鞆のまちづくり-活力ある地域再生と心豊かなまちをめざして-」についての提言が新たに改訂版(平成17年8月)として関係各所に提出されました。

また、世界文化遺産の審査に当たる国際イコモス民家建築委員会、全国町並み保存連盟から、鞆港の保存のための緊急アピール並びに宣言が出されました。

私たちは、この住民からの提言を受け、鞆の資源を活かし、地域の人々の誇りである鞆の町を後世の人に伝え、活力ある地域づくりと心豊かなまちづくりのためにより良い方向性を議論することが必要であると考えます。そのための、

専門的知識を有する全国区の有識者による、住民に公開された総合的な‘まちづくりの在り方’を検討する場の設置を深く望みます。

2005年 月 日

氏名	住所

※ 書いていただいた個人情報は、この署名目的以外に使用することはありません。

呼びかけ人： 鞆を愛する会 鞆の自然と環境を守る会 鞆の浦海の子 福山まちづくり円卓会議
元町一町内会 歴史的港湾鞆港を保存する会 アートさくら NPO法人 e&g 研究所
NPO法人鞆まちづくり工房